

リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内中学校（岡山県）

【取組内容②】「生徒会役員選挙にオンラインで小学6年生を参加させることで中学校への意識を醸成」

カテゴリー

「生徒会オンライン選挙」(全学年&荘内小6年生)

活用概要

生徒会役員選挙はオンライン投票で行われます。瞬時に投票状況が集計されること以上に、小学校6年生の選挙参加が可能となり、自分たちが入学した時の生徒会役員を自分たちも一緒に選出するという取組が可能となりました。

使用アプリ等 Meet Googleスライド

【活用目標や工夫点、活用の流れや生徒の様子】

- 生徒会選挙期間中は立候補者の動画を給食時間中に流したり、直接の挨拶を行い期間を設けていました。小学校6年生にも動画を視聴してもらい、選挙に参加する意義を伝えました。
- 立候補者は演説スライドを工夫したり、動画の制作に取り組んでいました。
- 6年生児童は真剣に進学校の生徒会役員を選出するため、各立候補者の公約等をメモしていました。
- 荘内中では今後も中学校区一貫教育の取組の中で、生徒会選挙も異学年交流選挙を重視し、社会参画意識の醸成に取り組んでいきたいと思えます。
- 投票はフォームで行います。これが次世代型選挙制度の在り方と考えます。



小学校サイドの状況

